科目コード	63175	ナンバリング	CAC135	単位数	1 単位	開講時期	2023 年度後期
科目名	教育と ICT 活用 1-地小						
科目英語名							
担当教員	樹下　堅						
資格・免許との関連	小学校教諭資格取得のための必修科目 卒業必修科目（こども教育コース）						
学修内容	現代社会における教育の ICT 活用の意義を理解する。 小学校において各教科等の学習指導に共通して使える ICT 活用指導力について学修する。						
学修成果到達目標	ICT の活用の意義と理論を理解することができる。 ICT を効果的に活用した学習指導や校務の推進の在り方について理解することができる。 児童に ICT 活用能力を育成するための基礎的な指導方法を身に付けることができる。						

	授業計画	事前学修及び必要時間	事後学修及び必要時間
1	オリエンテーション Society5.0 の時代を生き抜く子どもと教育における ICT の活用の意義 １人１台端末・高速通信環境における学びの変容	独立行政法人教職員支援機構の「一人台端末の活用による情報活用能力の育成：校内研修シリーズ No104」を視聴しまとめる（1 時間）	1 人 1 台の端末が全小中学生が持つことになり、日本の学校教育がどのように変わったかをまとめる（2 時間）
2	特別支援教育における ICT の活用 学習の個別最適化	独立行政法人教職員支援機構の「病弱教育における ICT 活用：校内研修シリーズ No78」を視聴し、まとめる（1 時間）	インクルーシブ教育の視点で、ICT 機器の活用を考察しまとめる（2 時間）
3	ICT 活用にかかる環境の整備及び外部との連携	大学のネットワーク環境を調べる（1 時間）	学校と教育委員会との ICT 施策にかかる連携についてまとめる（2 時間）
4	ICT を活用した授業（動画）から学ぶ ICT 活用をベースとした授業のあり方 （ロイロノートを使ったグループワーク）	独立行政法人教職員支援機構の「学校教育の情報化：校内研修シリーズ No37」を視聴しまとめる（2 時間）	ICT を活用した授業を構想する（2 時間）
5	すぐにでも、どの教科でも、誰でも活かせる ICT 活用 ～StuDX Style を使って活用事例を学ぶ～ （グループワーク）	独立行政法人教職員支援機構の「学校における ICT を活用した学修場面：校内研修シリーズ No76」を視聴しまとめる（2 時間）	授業で紹介した StuDX Style 以外のものを調べ、次時に紹介できるようにまとめる（2 時間）
6	プログラミング教育の推進 スクラッチのプログラミングを使う	スクラッチのプログラムについて予習しておく（2 時間）	プログラミング教育でやってみたい授業を指導案の形でまとめる（2 時間）
7	遠隔・オンライン授業で学校教育を広げる 校務支援システムの活用で業務の効率化を図る （グループワーク）	学修者の視点から、実現してほしいオンライン授業についてまとめておく（2 時間目）	学校教育においてオンライン授業が活用できる場面を考察する（2 時間）
8	ICT 活用におけるルール作り 情報モラル、デジタルシティズンシップと家庭教育 （グループワーク）	独立行政法人教職員支援機構の情報社会に主体的に参画する態度を育む指導：校内研修シリーズ No82 を視聴しまとめる（2 時間）	ICT 活用にかかるルールについて、クラス担任としてまとめる（2 時間）

試　験	筆記試験				
教科書	書　名	著　者	出版社	ISBN	備　考
	ICT 活用の理論と実践：DX 時代の教師をめざして	稲垣 忠、佐藤 和紀	北大路書房	9784762831805	
参考書	書　名	著　者	出版社	ISBN	備　考

	GIGA スクール構想で変わる授業づくり入門	蔵満逸司	黎明書房	9.7846540236e+12	
	「1 人 1 台」端末で特別支援教育が変わる：すぐに取り組め、役立つアイデア 123	青木高光　全国特別支援学級・通級指導教室設置学校長協会	東洋館出版	9.7844910453e+12	
	PC1 人 1 台時代の間違えない学校 ICT（教育技術 MOOK）	堀田龍也	小学館	9784091050960	

	評価方法	評価割合	評価基準など
成績評価方法・基準	筆記試験	30%	理解度
	レポート課題	30%	考察力
	授業態度	30%	積極性とコミュニケーション力
	振り返りシート	10%	理解度

備　考	
フィードバック	授業ごとの振り返りシートはコメントを入れて、次回授業で返却する。 レポート課題については、コメントを入れて返却する。
実務経験のある教員による授業科目（※該当者のみ記載）	
授業内容	学校現場における教員経験がある者が、その経験を活かして、ICT 教育の推進について指導する。